# 国語科　中学校１年

単元名　新しい世界へ
「野原はうたう」
光村図書「国語１」

## 単元の流れ（全３時間）

第１次【第１時】
**主な学習内容**
・学習の目標や計画にしたがって、見通しを持つ。
・全文を通読する。
・「みなさんへ」の内容を理解する。
・小学校で学習してきた音読・朗読の方法を紹介し合う。
・四つの詩を紹介されたいろいろな方法で読む。
　ゆっくり読み、早読み、方言読み、叫び読み、さわやか読み、ゆったり読み、報道読み、発表読み、つぶやき読み、お疲れ読み、ラジオ体操読み

**「活用」の力育成のために**
小学校で学習した様々な読み方を生徒から紹介させ、学級全員で体験し、それぞれの読み方の良さなどを交流する。（①）

第１次【第２時】
**主な学習内容**
・四つの詩の「作者」名から、それぞれの人物の属性を確かめる。
・朗読する詩を一つ選び、詩の中で、「作者」の人物像や思いが表れている表現に線を引き、そこに込める読み手としての表現意図をノートに書く。
・「作者」名（氏は除く）のひらがな表記を漢字に直してみる。漢字を選んだ理由を交流する。

**「活用」の力育成のために**
ひらがな表記している作者工藤直子の意図を考えた上で、詩から読み取ったことを基に「作者」名に漢字を当てはめてみる。詩を楽しむ多様な方法を経験させるとともに、身に付けた漢字の知識を活用する経験を積ませる。（②）

第２次【第３時】（本時）
**主な学習内容**
・朗読練習をする。
　自分で選んだ詩を、効果を考えて読む。
・朗読発表会を行う。
　相互評価を行う。
（ワークシートに記入）

**「活用」の力育成のために**
他の生徒の学習活動を的確に評価し、それを相手の立場に立って適切に伝える力を身に付けられるようにする。（③）

単元目標
○文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解したことが伝わるように朗読する。

### 単元構成の意図

・中学校最初の単元である。小学校で身に付けた朗読の力をのびのびと発揮し、中学校での国語学習への意欲を持たせたい。
・第１時で、様々な読み方を実際にやってみることで、朗読発表会での読み方の工夫を促す。
・第２時には、読み方の根拠を持つために、詩の作者として想定されている生き物の人物像や思いを中心に内容の理解を行う。
・朗読発表会では、相互評価を取り入れ、内容理解と読み方のつながりや朗読の楽しさに気付かせる。

### 「活用」の力を育てるポイント

①これまでに身に付けた朗読の力を、新しい学習集団の中でのびのびと発揮できるように、グループ学習などを有効に取り入れる。
②朗読の意図や工夫を詩全体の印象のような曖昧なものから考えないように、詩中の文言に下線を引かせることで根拠をもたせ、自分の言葉で説明させる。
③朗読の学習課題を、「作者」（「いるかゆうた」等、擬人化された仮想の作者）の人物像や思いを伝えることに焦点化することで、相互評価を充実させ、感じたことや考えたことを伝え合う力の育成を図る。

授業展開例へ　評価問題
HOME　本時の流れへ